



令和4年8月3日からの豪雨災害等による現地調査(県政クラブ)

## ◆東北中央自動車道「東根北IC～村山本飯田IC」間(延長8.9km)が開通!!

国土交通省が事業を進めている東北中央自動車道「東根北IC～村山本飯田IC」間(延長8.9km)が、令和4年10月29日(土)に開通します。

これにより東北中央自動車道(東根～尾花沢)23kmが全線開通となり、**最上地域から関東方面まで高速でつながります。**



## ◆「山形県立致道館中学校」「山形県立致道館高等学校」に内定!! 中高一貫教育校!

令和6年4月に庄内地区に新設する県内2例目の併設型中高一貫教育校の校名が内定しました。

公募期間中に寄せられた校名案は、応募総数713件、応募校名数339点です。

応募が多かった校名案は、①**致道館(103)**、②鶴岡致道館(62)、鶴岡(45)、鶴翔(27)の順です。

なお、校章は中学校・高校で共通とし、開校準備室で専門家にデザインを依頼(令和5年6月公表)。また、校歌は、専門家に作詞、作曲を依頼(令和5年12月公表)する予定となっています。

## 明るい未来の創造に向けて

山形県議会議員(鶴岡市選挙区) 県政レポート No.14

山形県議会議員 **高橋 淳** (無所属/県政クラブ)

<高橋淳事務所> 発行日:令和4年10月8日(土)

〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡 100-1

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732

Mail:takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<県議会/県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4階)

<県議会/所属委員>

◎厚生環境常任委員会(委員)、予算特別委員会(委員)

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(委員)

○デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会(委員長)



## ◆県議会9月定例会閉会/一般会計補正予算額418億1,700万円など35議案可決

昨日、山形県議会9月定例会が閉会致しました。一般会計補正予算は、豪雨災害への対応とともに、原油価格・物価高騰等の喫緊の課題に対応するために編成された内容です。

今回の一般会計補正予算総額は追加提案を含め、**418億1,700万円**となり、今年度の累計予算額は7,320億4,500万円となりました。



尚、予算以外の主なものは、教員免許更新制の廃止に伴い更新関係手数料を削除するなどです。

そして、8月豪雨被害の支援や私学助成の充実強化、観光需要回復に向けた支援などを求める意見書の提出を決議し、北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射に断固抗議する決議を可決しました。

また、最終日の総務常任委員会報告で「**日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准並びに締約国会議へオブザーバーとして参加することを国に求める意見書**」など、請願3件を不採択したことから、会派を代表して石黒県議が反対討論を述べたものの、自公賛成多数により採択されました。

## ◆令和4年度9月補正予算の概要

豪雨災害対応として、災害復旧関係事業等及び被災者の生活再建支援。そして、原油価格・物価高騰等への対応として、①中小企業・小規模事業者、②運輸業、③農林水産業、④社会福祉施設、⑤生活困窮者等、⑥消費喚起、⑦ウイズ・ポストコロナ、⑧新型コロナウイルス感染症への対応、⑨諸課題などの対応です。

## ◆令和4年度「山形県私学大会」が開催!!

令和4年9月25日(日)に、第60回山形県私学大会が「やまぎんホール」で開催されました。

公教育の一翼を担い、重要な役割を果たしている私立学校の更なる御発展を心よりご祈念申し上げます。

なお、大会では、鶴岡東高等学校の森木茂先生が山形県知事表彰を受賞されました。



うどしごえんねん

## ◆月山が12年に一度の「卯歳御縁年」

来年、月山が12年に一度の「卯歳御縁年」を迎えます。長引くコロナ禍であっても、県内外からの登山客や外国人観光客などが、美しい月山の高山植物や景観などを見ていただき、本県に多くの方が訪れることを願うところです。

なお、羽黒山は「午歳(うまどし)」、湯殿山は「丑歳(うしどし)」、月山は「卯歳(うどし)」にそれぞれ大神の御出現とある。その年に合わせて参拝すると、大きな御利益を授かるといわれています。(^▽^)/

## ◆厚生環境常任委員会 10/4~5 開催

以下内容について提案や質問等を行いました。

- 1) 新型コロナの発生届の限定に伴う、保健所・県関係者等の労働環境の実態等について
- 2) 認知症に係る県内の状況と予防対策について
- 3) 結婚支援の充実・強化による「AI等を活用したマッチングシステム」の開始時期など



(10/5 山形新聞掲載)

## ◆(株)渡会電気土木(鶴岡市)意見聴取!

デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会 10/6

「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた農林業の活性化と新産業の創出に向けて、株式会社渡会電気土木(専務取締役本部長 丹治真彦氏)様より、木質バイオマスの利用促進に向けた取組み、現状と課題、業界の動向などについて、特別委員会で意見聴取を行いました。



(o^ー^o)ニ

## ◆(中小企業・小規模事業者)一部抜粋

①原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援給付金(法人10万円、個人事業主5万円、7~9月のいずれかの月の売上)又は、②粗利(売上高-仕入原価等)が(令和元年~3年のいずれかの年の同月比で30%以上減少)。③今般の大雨で被災した事業者に対し、法人10万円・個人事業主5万円を上乗せ追加しました。

県議会6月定例会において、コロナ禍による原油価格・物価高騰等により、売り上げは勿論、「粗利」が減少している事業者が多いことから、産業労働部に検討するよう提言をしていましたが、今定例会で追加・見直しが図られました。

## ◆9月定例会の予算特別委員会で質疑!

今定例会の予算特別委員会(9/29)において、鶴岡警察署への消雪設備設置、県管理道路の除草対策強化(活動団体等へリモコン機械貸与等)、

農業経営に係る原油価格・物価高騰対策、堆肥等の国内資源の活用、「人・農地プラン」の法定化と事業継承などについて質疑を行いました。(9/30 山形新聞掲載)



<質問項目>

- 1) 総合支庁の実態に即した予算の執行について
- 2) 豪雪等に伴う警察署の機動性確保について
- 3) 寒冷地手当の見直しについて
- 4) 道路の維持管理・除草の対策強化について
- 5) 農業経営課題に係る総合的施策展開について

## ◆県議会レポートあとがき

山形県内の東北中央自動車道の約6割が無料区間です。10/29 北村山の高速道路が開通することによって、山形~新庄まで、9分短縮の50分となります。観光客数はコロナ禍前の水準には戻っていない状況ですが、明るい見通しが予想されます。

そして、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、地域経済は依然と厳しい状況にあり、デジタル化など新たな社会変革への対応が求められています。物価高騰や少子高齢化の加速により、地域でもお互いに支え合っていくことが難しくなっています。地域コミュニティの維持、健康寿命の延伸・増進に向けた取組みにより、誰もが自分らしく心豊かに暮らせる地域福祉などの実現に向け、「地域共生社会」を目指す取組みを進めたいと思います。